

県民意識調査に御協力ください

◆ 調査への御協力をお願い

この調査は、県政運営の基本指針である「新・宮城の将来ビジョン」に関する取組について、県民の皆様の重視度・満足度、今後優先すべきテーマなどについてお聞きするものです。県では、その結果を基に計画の着実な推進を図るとともに、今後の施策や県政運営に反映させたいと考えております。

お忙しいところお手数をお掛けいたしますが、この調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願いいたします。

▼ 郵送で回答する場合

手順1

調査票（本紙）
に記入



手順2

同封の返信用封筒
に入れる

手順3

ポストに投函

12月19日（火）まで

▼ インターネットで回答する場合

手順1

QRコード
を読み取り
→



手順2

専用フォームへアクセス
<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1698228222295>

手順3

回答・送信

12月19日（火）まで

インターネットから回答する際は、QRコードを読み取る、または、「宮城県民意識調査」と検索し、県のホームページ（県民意識調査について）に掲載しているリンクから、回答ページにアクセスしてください。

回答の際は、以下のID（6桁数字）を始めに入力の上、回答を進めてください。

※郵送回答との重複を確認するためのものであり、個人を特定するものではありません。

➤ 【問い合わせ】

宮城県企画部 総合政策課 行政評価班
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号
電話：022-211-2406 FAX：022-211-2493
メール：seisakug@pref.miyagi.lg.jp

➤ 【県のホームページ】（県民意識調査について）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/ishiki-gaiyou.html>

◆ 調査対象者

県内にお住まいの18歳以上の方4,000人を、選挙人名簿等から無作為に抽出させていただきました。

◆ 調査基準日

調査票は、令和5年11月1日時点で御記入ください。

◆ 調査回答の方法

調査をお願いした御本人(封筒の宛名となっている方)がお答えください。

なお、記入の際は、濃い鉛筆やボールペンなどを御使用ください。また、一旦記入した内容を訂正する場合は、訂正後の回答がはっきり分かるようにしてください。

本調査は紙(本紙)または、インターネットで御回答ください。

◆ 記入いただいた調査票について

御記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、12月19日(火)までに、切手を貼らずにそのままポストに投函してください。

なお、調査は無記名で行いますので本人の御名前や住所は記載不要です。また、調査結果は統計的に処理するとともに、調査目的以外には利用いたしませんので、皆様の率直な御意見を記入くださいますようお願いいたします。

※インターネットで回答した場合は、本調査票は返送不要です。

◆ 調査結果について

この調査の結果は、令和6年3月頃に、県のホームページ(県民意識調査について)、県政情報センター、各地方振興事務所及び各地域事務所の県政情報コーナー(仙台地方振興事務所は除きます。)、議会図書室(県議会庁舎)でお知らせします。

調査票の構成

- | | | |
|---|--------------------|------------------|
| 1 | あなた御自身のことについて | …………… (3～4ページ) |
| 2 | 新・宮城の将来ビジョン(※)について | …………… (5～9ページ) |
| 3 | その他の取組について | …………… (10～15ページ) |
| 4 | 今回の調査に対する御意見について | …………… (16ページ) |

※「新・宮城の将来ビジョン」の概要については、県のホームページをご覧ください。

新・宮城の将来ビジョン

検索 

問6 あなたの職業について、1から7のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。
※【2】にあてはまる方は、さらに【①】から【④】のあてはまる番号に○をつけてください。

- 1 自営業主・家族従業者
- 2 被用者(雇われている人)
 - ① 会社員
 - ② 公務員・独立行政法人職員
 - ③ パート・アルバイト・フリーター
 - ④ その他()
- 3 企業役員・団体代表等 4 専業主婦(主夫) 5 学生
- 6 無職 7 その他()

付問1 問6で【1】【2】【3】【7】を選んだ方にお聞きします。
現在の仕事の内容について、1から18のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。
※複数の職業をお持ちの場合は、最も従事割合の高いものを選んでください。

- 1 農業、林業 2 漁業 3 鉱業、採石業、砂利採取業
- 4 建設業 5 製造業 6 電気・ガス・熱供給・水道業
- 7 情報通信業 8 運輸業、郵便業 9 卸売業、小売業
- 10 金融業、保険業 11 不動産業、物品賃貸業 12 学術研究・専門・技術サービス業
- 13 宿泊業、飲食サービス業 14 教育、学習支援業 15 医療・福祉
- 16 その他のサービス業 17 公務
- 18 その他()

新・宮城の将来ビジョンについてお聞きします。

令和3年度から10年間の計画として「新・宮城の将来ビジョン」がスタートしています。「新・宮城の将来ビジョン」では、今後見込まれる社会の変化等を踏まえながら、将来の宮城のあるべき姿や目標を県民の皆さんと共有し、その実現に向けて取り組んでまいります。

○ビジョンの位置づけ

県政運営の基本的な指針であり、県の施策や事業を進める上での中長期的目標と位置づけるものです。ビジョンでは、宮城県の特徴や各地域の特性を踏まえ、将来にわたり発展し続けていく宮城を構築するため、県として重点的に取り組むべきテーマや目指す姿などを明確にした上で、その実現に向けた中長期的な取組の方向性を明示しています。

○計画期間

10年間（前期：令和3年度～令和6年度、中期：令和7年度～令和9年度、後期：令和10年度～令和12年度）

○「持続可能な未来」のための8つの「つくる」

ビジョンでは、4つの政策推進の基本方向に基づき、「持続可能な未来」のための8つの「つくる」を推進します。

政策推進の基本方向1

富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進

つくる1 ～新しい価値～

全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる

つくる2 ～成長の基礎～

産業人材の育成と産業基盤の活用によって
持続的な成長の基礎をつくる

政策推進の基本方向3

誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり

つくる5 ～いきいき～

一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる

つくる6 ～安全安心～

健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる

政策推進の基本方向2

社会全体で支える宮城の子ども・子育て

つくる3 ～子育て～

子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる

つくる4 ～教育～

社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる

政策推進の基本方向4

強靱で自然と調和した県土づくり

つくる7 ～自然と共存～

自然と人間が共存共栄する社会をつくる

つくる8 ～県土～

世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる

◆ これから8つの「つくる」について質問しますので、「つくる」ごとの説明を読んだ上で、質問にお答えください。

つくる1 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる

農林水産業やものづくり産業、商業や観光業といったサービス産業などにおいて、変化する時代のニーズに対応するため、最新の技術を使い、商品やサービスの質を向上させ、働く時間や労力を削減する取組を進めます。

あなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 県内に新たな企業を呼び込み、最新技術の活用を進める
- 2 研究開発の拠点を集め、企業、大学と連携して地域産業を活性化する
- 3 ものづくり産業の発展を支援する
- 4 地域の持ち味を生かし、収益力が高い観光産業を実現する
- 5 魅力的な観光地づくりや効果的な観光情報の発信により、観光客を増やす
- 6 高齢化や過疎化などで衰退した商業・サービス業を復活させる
- 7 農林水産業や食産業を将来にわたり発展させる
- 8 農林水産物の国内外へのPRや、生産管理を支援する
- 9 食の安全・安心を確保する

つくる2 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる

県内産業が将来にわたって成長していくため、高度な専門性などを身に付けた人材を育成し、活躍できる環境を整えるほか、事業アイデアの実現や経営力の強化など企業の経営を支援します。また、空港や港湾、道路や農地などの産業基盤を整備・活用するほか、東北のゲートウェイ機能を一層強化するため、東北各県が観光やビジネスで協力できる体制をつくります。

あなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 県内への就職・就業を進め、人材を育て、担い手を確保する
- 2 誰もが希望どおり働き続けるための環境を整える
- 3 リカレント教育*を支援する
- 4 個人や企業の事業アイデアの実現や経営力の強化を支援する
- 5 空港や港湾、漁港、道路、農地、森林等を整備する
- 6 空港や港湾、漁港、道路、農地、森林等の産業基盤を有効活用する
- 7 他地域から東北に呼び込むゲートウェイ機能*を強化する

*リカレント教育…学校教育からいったん離れて社会に出た後も、それぞれの人の必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と教育を繰り返すこと。

*ゲートウェイ機能…全国、世界から東北へ広くヒト・モノを呼び込む玄関口としての機能。

つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる

結婚・妊娠・出産を望む人たちの希望が叶えられ、子育てを行う人たちの負担や不安が少なくなるよう、様々な支援を充実させながら、子ども・子育てを社会全体で支える環境づくりを進めます。また、家庭・地域・学校が協力して、宮城の未来を担う子どもたちの教育や成長を支えます。

あなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 結婚・妊娠・出産を望む人たちを支援する
- 2 子育てで家庭の心理的・経済的な負担を少なくする
- 3 安心して子育てができるような職場や社会の環境をつくる
- 4 すべての子どもが健やかに育ち、安心して教育を受けられる環境をつくる
- 5 社会全体で虐待から児童を守る
- 6 子どもが基本的な生活習慣などを身に付けられるように家庭を支援する
- 7 家庭・地域・学校が協力できるような仕組みを強化する

つくる4 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる

子どもたちが、夢や目標を持ち、多様な社会に適応する力や挑戦する力をはぐくみます。また、子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができる教育体制を整えます。

あなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 他の人と協調し、思いやる心や感動する心などをはぐくむ
- 2 基礎的な学力や考える力・表現する力を高める
- 3 最新技術や国際化に対応するための能力をはぐくむ
- 4 健康な身体づくりや体力・運動能力の向上を進める
- 5 子どもたちが行きたくなるような学校づくりを進める
- 6 多様な子どもたちに合わせた教育体制をつくる
- 7 いじめの防止対策や不登校児童生徒一人ひとりに応じた支援を実施する
- 8 教職員のスキルアップや働きやすい学校づくりに取り組む

つくる5 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる

年齢・性別・障害の有無・国籍等を問わず誰もが自分らしく社会に関わることができる環境をつくり、様々な交流や地域活動等を促進します。また、文化芸術・スポーツの力を活用し、県民の活動や学びのための場、人づくりを支え、豊かな暮らしや地域の活性化につなげます。

あなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 誰もが自分らしく活躍できる雇用環境の整備、就労を支援する
- 2 女性や高齢者等が活躍できる社会をつくる
- 3 地域のつながりを強化し活性化させる
- 4 外国人が活躍しやすい社会をつくる
- 5 県民が行う文化芸術活動への支援や文化芸術に親しむ機会を増やす
- 6 文化芸術やスポーツの持つ力を様々な分野で活用する
- 7 アスリートへの支援や県民がスポーツを楽しむ機会を増やす
- 8 様々な学びの機会を提供し、人材育成を進める

つくる6 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる

県民一人ひとりが、健康で安全安心に暮らし続けられる地域社会をつくるため、医療・福祉、防犯、交通など生活に必要な不可欠なサービスが、地域の実情や社会の変化に対応しながら維持し続けられるよう、地域の関係機関などと連携して体制整備を進めます。

あなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 心と身体の健康を保てるよう、あらゆる世代への支援体制を強化する
- 2 日常の医療から高度な医療まで、切れ目のない医療サービス提供体制をつくる
- 3 感染症の発生及びまん延を防ぎ、必要な医療を受けられる体制をつくる
- 4 介護予防や生活支援サービスの充実・介護人材の確保などを進め、高齢者が安心して暮らせる地域をつくる
- 5 障害や障害者に対する理解・関心を深め、障害のある人もない人も共に支え合う社会をつくる
- 6 誰もが暮らしやすいユニバーサルデザイン*に配慮したまちづくりを進める
- 7 障害者や難病患者等が安心して暮らせるよう、福祉サービスを充実させる
- 8 生活に必要な交通手段を提供する事業者を支援し、地域に適した移動手段を確保する
- 9 商店街の魅力を高め、地域のにぎわいをつくる
- 10 地域が一体となって、犯罪や交通事故などが起きにくい環境をつくる

*ユニバーサルデザイン…年齢や障害の有無にかかわらず、すべての人が使いやすいように工夫された用具・建造物などのデザイン。

つくる7 自然と人間が共存共栄する社会をつくる

自然との共生や環境への負担の少ない社会づくりを進めていくことで、「豊かな暮らし」の実現を目指し、次の世代に伝えていきます。

あなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 環境汚染の防止や地球温暖化対策をはじめとする環境問題への理解を深め、環境にやさしい行動をする
- 2 エネルギーを無駄なく使い、再生可能エネルギーの利用を増やす
- 3 環境問題の解決につながる産業を成長させる
- 4 ゴミを減らしながら、できるだけ再利用やリサイクルをする
- 5 ゴミの不法投棄等をなくし、正しく処分する
- 6 地域の生き物がこれからも暮らし続けられる自然環境を守る
- 7 森林や水辺、農山漁村について学べる環境をつくる
- 8 農村・漁村、森林など地域の豊かな恵みを守りながら、色々な面で積極的に活用する
- 9 農村・漁村の暮らしや景観等を生かして都市部から人を呼び込む

つくる8 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる

災害の被害を防ぐために、防災・減災を考慮した道路、河川などの整備、防災教育、自助・共助・公助による地域の防災体制づくり等を進めます。また、古くなった公共施設や、道路、水道などのインフラについて、計画的な維持管理を進めるとともに、安全で信頼性のある管理体制をつくります。

あなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 東日本大震災の経験を活かし、災害発生時の対応力を高める
- 2 企業や町内会等と連携し、地域における防災体制を強化する
- 3 避難訓練などを通じて、県民の防災意識を高める
- 4 防災に関する教育を充実させ、学校の防災体制を強化する
- 5 施設の整備や情報提供体制の強化などにより、災害への備えを充実させる
- 6 道路、水道等のインフラを計画的に整備するとともに、適切に維持管理する
- 7 企業や地域住民と協力した公共施設管理の取組を進める

投票率向上のための施策についてお聞きします。

問1 令和5年10月22日に行われた宮城県議会議員一般選挙（以下「県議選」という）の投票を行いましたか。1から4のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 当日投票を行った
- 2 期日前投票を行った
- 3 不在者投票を行った
- 4 行わなかった

付問1 問1で【4】を選んだ方にお聞きします。

あなたが投票を行わなかった一番の理由は何ですか。

1から10のうち、最もあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 政治や選挙に興味がないから
- 2 投票したい候補者や政党がないから
- 3 投票所に行くのが面倒だから
- 4 投票所が開設されている時間が合わないから
- 5 引っ越しにより投票所入場券が届かなかったから
- 6 選挙が行われたことを知らなかったから
- 7 投票の仕方がわからなかったから
- 8 居住地の選挙区で投票が行われなかったから
- 9 投票しても何も変わらないと思ったから
- 10 どの候補者・政党に投票すればよいか、情報が足りず判断できなかったから

問2 県議選において、宮城県選挙管理委員会では「犬」をメインビジュアルに起用し、各種選挙啓発活動を行いました。見たことや聞いたことがあるものについて、1から15のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- 1 宮城県のホームページ・宮城県議会議員一般選挙特設サイト
- 2 選挙公報
- 3 JRの駅や地下鉄の駅に掲示されたポスター
- 4 商業施設や学校、町内会の掲示板等に掲示されたポスター
- 5 テレビCM
- 6 定禅寺通りに設置された広告塔
- 7 市区町村選挙管理委員会の巡回広報車
- 8 インスタグラム広告
- 9 Youtubeの動画広告
- 10 LINE広告
- 11 TVerの動画広告
- 12 街頭啓発（駅や商業施設等でのティッシュ等の物資配布）
- 13 犬議会議員選挙イベント（仙台駅2階での模擬投票イベント及びWeb投票イベント）
- 14 投票所来場カード、投票済証明書
- 15 選挙啓発を見たことがない

問3 県議選で投票した方を対象に、商業施設や飲食店等において割引等のサービスを行う「センキョ割」が行われたことを知っていましたか。1から3のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 投票前に知っていた
- 2 投票後に知った
- 3 知らなかった

付問1 問3で【1】を選んだ方にお聞きします。「センキョ割」が行われたことで、投票に行く意欲が高まりましたか。1から4のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 高まった
- 2 やや高まった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 まったく影響がなかった

エシカル消費についてお聞きします。

問1 あなたは、以下の言葉について、どの程度知っていますか。下記の①から③の言葉についてあてはまる番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

① SDGs

1 言葉と内容の両方を知っている 2 言葉は知っているが内容は知らない 3 言葉も内容も知らない

② フェアトレード

1 言葉と内容の両方を知っている 2 言葉は知っているが内容は知らない 3 言葉も内容も知らない

③ エシカル消費（倫理的消費）

1 言葉と内容の両方を知っている 2 言葉は知っているが内容は知らない 3 言葉も内容も知らない

問2 エシカル消費とは、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動です。

エシカル消費の具体例

人・社会：フェアトレード認証商品、障がい者支援につながる商品を選択

地 域：地産地消、被災地で作られたものを購入することで被災地を応援、伝統工芸品を購入

環 境：エコラベル認証商品を購入、マイバックを使う、食品ロスを減らす

あなたは、エシカル消費について、どの程度興味がありますか。1から4のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

1 非常に興味がある 2 ある程度興味がある 3 あまり興味がない 4 全く興味がない

問3 今後、あなたが、エシカル消費に取り組む又は取り組もうとする際の支障は何ですか。1から5のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- 1 どれがエシカル消費につながる商品やサービスか分からない
2 エシカル消費につながる商品やサービスが身近にない
3 参加方法が分からない 4 経済的余裕がない 5 余分にお金がかかる

問4 あなたは、どのような条件であれば、エシカル消費に取り組みたい又はもっと取り組みたいと思いますか。1から6のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- 1 同種の商品・サービスと価格が同程度であれば
2 身近な店舗やインターネットで売ってあれば
3 認証マークの付いた商品が増えれば
4 店舗等で分かりやすい表示（ポップ）があれば
5 無料品やサンプルを試す機会があれば
6 環境・社会問題の解決に繋がることが分かれば

問5 あなたは、エシカル消費につながる商品・サービスを、今後購入したいと思いますか。1から4のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 非常に購入したいと思う
2 ある程度購入したいと思う
3 あまり購入したいと思わない
4 全く購入したいと思わない

少子化対策についてお聞きします。

問1 宮城県は、出生数の減少や合計特殊出生率の低下が続いていますが、少子化の主な原因として、あなたが感じるものはどれですか。1から8のうち、あてはまる番号に○をつけてください（3つ以内）。

- 1 雇用・就労等が不安定であること
- 2 出会いの機会に恵まれないこと
- 3 仕事と子育ての両立に不安や難しさがあること
- 4 女性に家事・育児の負担が偏っていること
- 5 子育てを支えるサービスや周囲のサポートが不十分であること
- 6 子育てや教育にかかる経済的な負担が大きいこと
- 7 子どもよりも自らの生活を充実させたいと考える人が増えたこと
- 8 その他（)

問2 結婚を望む方の希望を叶えるために、行政の取組として、あなたはどのようなものが必要だと思いますか。1から6のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 安定した雇用・就労環境の確保・創出
- 2 結婚前後の生活資金への支援
- 3 出会いの機会の創出
- 4 結婚を前向きなものとする機運の醸成
- 5 自らのライフプランについて考えるための学びの場の提供
- 6 その他（)

問3 育児と仕事の両立を支援するため、職場が取り組むべき最も重要な課題だとあなたが感じるものはどれですか。1から6のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 日常的に労働時間が長い・業務量が多いこと
- 2 休暇が取りづらい雰囲気があること
- 3 子どもの病気などの急用時に、職場で柔軟な対応ができないこと
- 4 上司や同僚の理解・協力が得られないこと
- 5 始業・終業時間が固定的であること
- 6 その他（)

問4 県内の若者が首都圏に流出する要因として、あなたが感じるものはどれですか。1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 就きたい職種や望んでいる働き方が不足しているため
- 2 給与水準が低いため
- 3 若者向けのイベントや娯楽施設が少ないため
- 4 首都圏において、より高度な教育を受けるため
- 5 その他（)

